

兎娘の皮でTSして
ひとりえっちしちゃう話





時は少し前に遡る...

数刻前
俺は用事を終えて
帰ろうとしていた
ところだった

お兄さん

ようやく
気づいて
くれましたね

ちょっとだけ話を
聞いてもらっても
いいでしょうか？

おにいさん

スタ

スタ

ちょ、
ちょっと待って下さい！

ガ
ン、
ッ！

……

スタ

スタ

))))









本当に着れるのか？



とりあえず
足から履くか

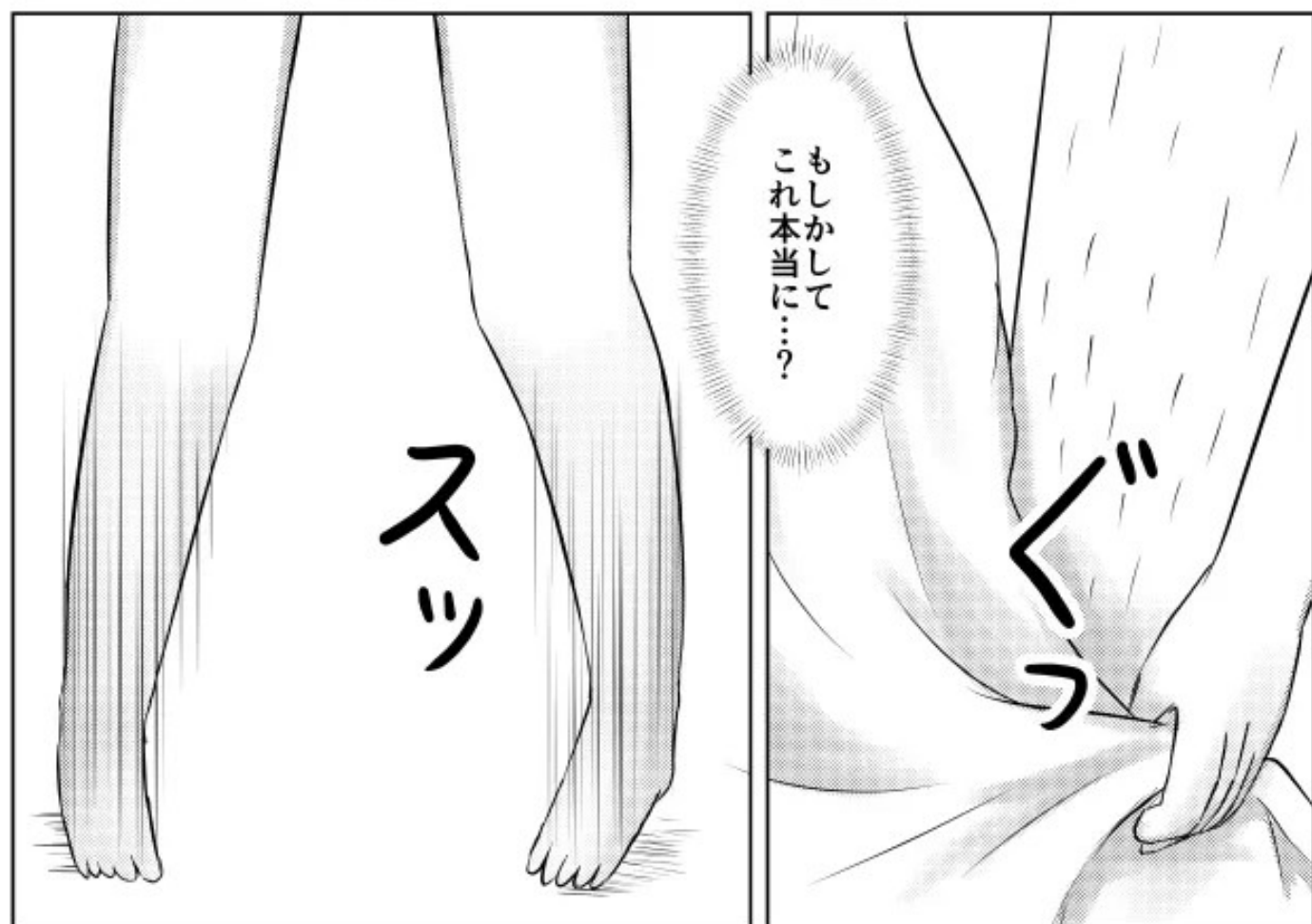


くきついな

ギチ

バッ

服は脱いだが…
うわ…生々しいな…















何だ

今の

体が熱い…

はあ…

下に少し
触れただけなのに…

はあ…

…ああそうか

はあ…

ぎゅん

もしかして
兎娘だからか

はあ…

は、発情してる…!?

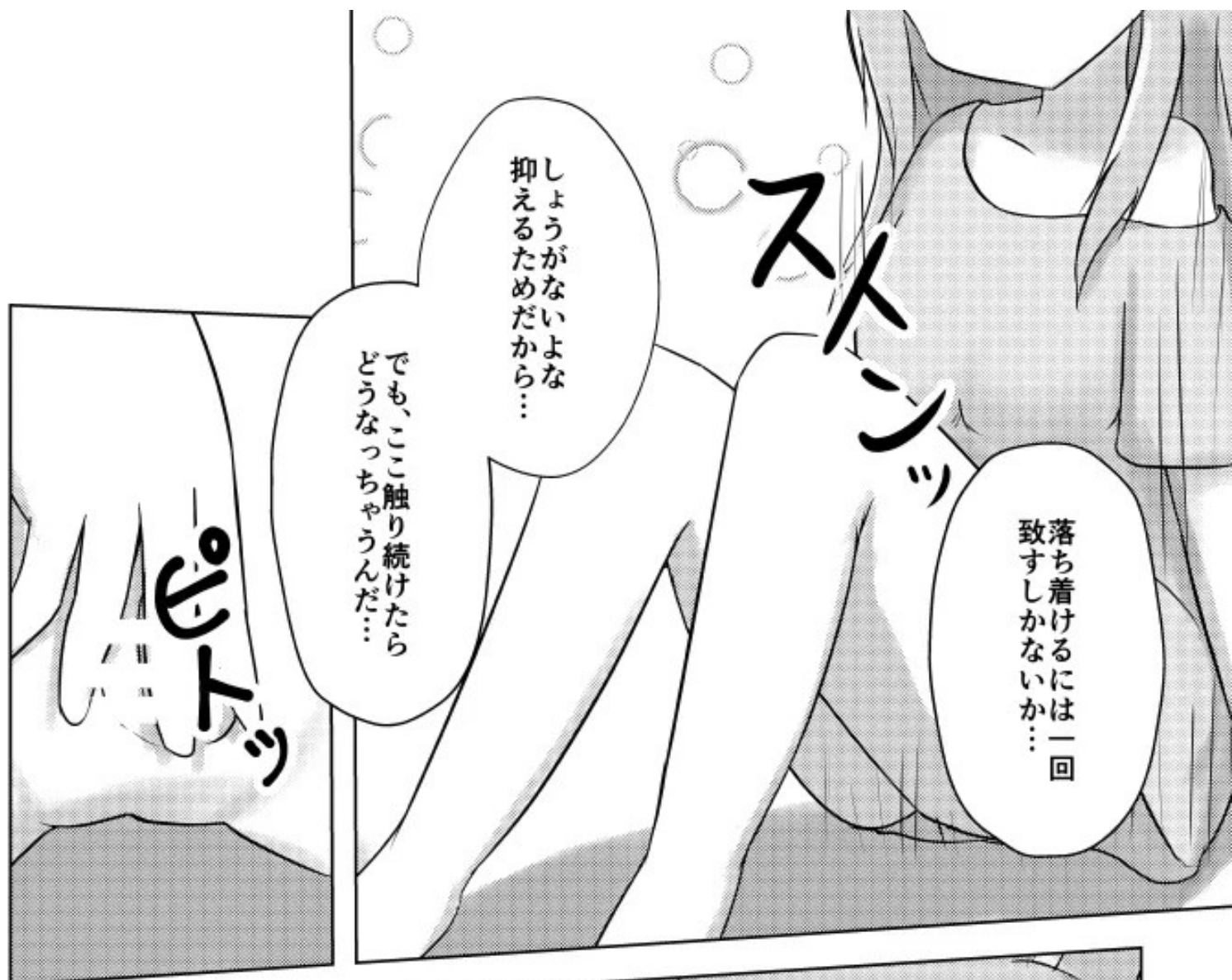
きゅん

ドキ

ドキ

ドキ

ドキ









翌朝

はあ、すごかったな…
結局朝になってしまった…

ようやく落ち着いたし
そろそろ脱がないと…

説明書には背中に
力を入れると
裂けて脱げるって
書いてあったな

ぐっ
パカ



脱いでも兎娘の姿の
ままだった俺は
結局元に戻れず

あれ

あれ

なんで
戻ってないの

あの少女を探しに
行くわけだが
それはまた
別のお話……